



News Release

2023年12月27日

各 位

白鷺電気工業株式会社
代表取締役社長 沼田 幸広

白鷺電気工業株式会社としらさぎエナジー株式会社が、熊本市と
「カーボンニュートラルの実現及びレジリエンス強化に関する連携協定」を締結



白鷺電気工業株式会社（本社：熊本市東区、社長：沼田 幸広）及び白鷺電気工業の子会社であるしらさぎエナジー株式会社（本社：上益城郡益城町、社長：飯山 和彦）、並びに熊本市（熊本県熊本市、市長：大西 一史）3者は、25日、電動車及び充電設備を活用した「カーボンニュートラルの実現及びレジリエンス強化に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、白鷺電気工業としらさぎエナジーが取り組む「再エネ×電動車の同時導入による脱炭素型カーシェア・防災拠点化促進事業」に関連し、熊本市が目指す温室効果ガス排出量の削減及び災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの構築に向け、3者が連携して取り組むことを目的とした協定です。

【協定の経緯・背景】

白鷺電気工業は、2013年に益城町にメガソーラー発電所を設置して再生可能エネルギー事業への取組を始めるとともに、2027年までには社用の対応可能な車両は電動車へ入れ替えを行う計画など、自社の環境経営方針を定めて、カーボンニュートラルの実現に向けて諸施策に取り組んでいます。

この度、住友商事株式会社様の連結子会社である、株式会社 Hakobone 様と連携して、環境省が実施する「再エネ×電動車の同時導入による脱炭素型カーシェア・防災拠点化促進事業」に応募し、会社からの通勤用電動車の提供及びEV用充電設備の充実を図るという事業に共同で取り組むことといたしました。この取組によりなお一層の脱炭素に貢献するとともに、災害時には自社の保有する電動車及びこれらの設備を災害現場で有効活用することでレジリエンス強化が図られることとなります。

一方、熊本市は、2020年1月に熊本連携中枢都市圏共同で「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを宣言し、2021年3月には「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定し、住民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策を推進しています。本計画では、施策の柱となる基本方針のひとつに「都市圏の特性を活かした再生可能エネルギーの利用促進と災害への対応」を掲げ、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、災害等の非常時に必要なエネルギーを確保するため、電力の地産地消や蓄電池の設置などによる自立・分散型のエネルギーシステムの構築や「走る蓄電池」として災害対策にも寄与する電気自動車などの次世代自動車の普及を促進しています。

熊本市が進めるこれらの取組と白鷺電気工業が実施する今回の取組との連携を強化するために、本協定の締結を行う運びとなりました。



人、くらし、エネルギー。

白鷺電気工業株式会社

News Release

【協定の概要】

① 再生可能エネルギー設備や電動車の普及促進によるカーボンニュートラルへの貢献

熊本市と白鷺電気工業及びしらさぎエナジーは、再生可能エネルギー設備や電動車の普及啓発を行うほか、熊本市のイベントに協力することで、電動車は「走る蓄電池」として活用できることを市民へ積極的にアピールしていく。

② 災害時における電動車の活用による市民の安全確保

白鷺電気工業およびしらさぎエナジーは、熊本市で災害発生を起因とする停電が発生した際または災害が起こりうる状況で市からの要請があった際に、熊本市が指定する避難所に、白鷺電気工業/しらさぎエナジーが所有している電動車を無償で貸与する。

【本件に関するお問い合わせ先】

白鷺電気工業株式会社 経営戦略室

担当：東、眞田 TEL：096-380-7171（代表）

E-MAIL：info@shirasagidenki.co.jp